

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。


チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	有限会社 グループホーム翁頭
(ユニット名)	ひまわり棟 あじさい棟
所在地 (県・市町村名)	長崎県五島市野々切町253-1
記入者名 (管理者)	川村 久治
記入日	平成 19年 11月 10日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員が介護する過程において自分が考える理念を提出してもらい、それを皆でわかり易く集約した理念を作成しています		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の引継ぎ時に全員で理念の唱和を行い、その日その日の介護支援に実践できるように努めています		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には契約時に当ホームの理念、又地域との交流の様子等の説明をしています。地域の方々には運営推進会、その他でホームに来られた折に玄関ホール他に掲示して、理解して頂くようにしています		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人とは、野菜を頂いたり、野菜作りを指導して頂いたり、ホームの各種行事へ極力参加してもらったりと日常的なつきあいを行っています		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会へ加入し、老人会や学校とも交流を図りホーム便りも発行、学校や区長に配布し地元の活動にも参加しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	計画はありますが現在実施されていません		家庭で介護される方などへの認知症の方に対する接し方、介護の方法や介護認定の説明会等を開催してはどうかと言う計画を運営推進会でしましたが、実施に至っていないので今後近くのホームと共同で開催を協議したいと考えています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が、自己評価及び外部評価の意義を理解し、昨年の評価結果を参考に具体的な改善に取り組んで良質なサービス水準の向上に努めています		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議の参加者に、色々な意見や要望、他施設の状況等も参考にして、実際の運営に取り入れていくようサービスの向上に努めています		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催による、介護保険関係シンポジウム及びケアプラン研修会へは積極的に参加し、市町村の指導のもとサービスの質の向上に取り組んでいます		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市の社会福祉協議会開催による研修会へは参加し勉強中ではあるがホーム自体ではまだ実施していません		地域福祉権利擁護事業や成年後見制度は今後必要な場合があると考えられるので、必要な方に活用支援できるように、学ぶ機会を多く持つ様にしたいと思います
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員はあらゆる研修会等に参加し、他施設の状況も勉強し、自施設での虐待が起きないように注意をはらい防止に努めています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居する場合は、事前に自宅を訪問し本人の状態、家族の状況を把握し十分な説明を行い、理解・納得を図っています</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に相談、苦情の受付について、明確に示しており事務室に苦情箱を設置し、また入居者やご家族には気軽に意見を言ってもらえるよう働きかけています</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>入居者の日々の心身の状態や体調変化、入浴、食事、排泄の状況等の記録、個々に金銭管理出納帳を作成して、毎月その状況をご家族へ報告しています</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談や苦情を受け入れるホーム側の窓口、及び相談者を明確にしており、入居者及びご家族にその利用の仕方を文書等で伝えています</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月末の全員会議で運営者側の意見や職員側からの意見を出し合い、いい意見や可能な提案は積極的に取り入れて、職員がよりよいサービスができるよう、仕事がしやすいように努めています</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>いつでも状況の変化、要望に対応できるように職員の確保と配置には努力しています(職員の休暇が急に重なった場合等、臨時の専属職員を配置しています)</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動については、必要最小限に抑えています。離職についてはできる限り職員とコミュニケーションをとり悩み等を聞くようにして働き易いように努めています</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修会等へは、極力参加可能な勤務体制のスケジュールを実施し、参加できるように努め、内部では風呂がない日にケアマネや計画作成担当者による自己研修をしています		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在計画中で実施に至っていません		同業者さんと交流の機会や勉強会、相互訪問等の活動や地域の一般の方との交流を計画中です
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	忘年会や懇親会を実施していますが、ストレス軽減には至っていないようです		毎月末の全体会議の折に何がしたいか、何がストレス解消になるか意見を聞きますが、対処に至っていません、悩み事や相談事をよく聞いてあげる事が大切だと考えています
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の努力や実績に対応し、各自が向上心を持って働けるように努めています		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を受けてから園長、管理者、作成担当者が、相談者宅を訪問し本人の状況等話を聞いて、受け止める努力をしています		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談を受け本人の状況、状態を把握するとともに、家族から聞き取りも行い不安の解消を図る努力をしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け本人家族の状況を見極めながら、本人に対するサービスを協議するよう努めています		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して生活できるよう支援し、意見や要望等も取り入れ、家族とも相談しながらサービス提供しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にかかわらず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人その人のもった得意な事は、何でも取り入れ職員と共有して頂き共に喜んだり楽しんだり、教えて頂いたり、教えたりと支えあう関係を築いています		
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にかかわらず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご主人を亡くされた利用者の場合、ご家族に協力して頂き、利用者が本来の生活を送れるようにご家族の協力を受けながら、支援していくような関係を築いていくようにしています		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	食事会やあらゆるホームの行事には、ご家族にも出来るだけ参加して頂き、コミュニケーション関係が築いていけるように支援しています		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた人との関わりや、電話での話し等、関係者の訪問が出来るよう支援しています		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	絵を描いたり習字を書いたり洗濯物をたたんだりして、一緒に楽しみながら、利用者がお互いに支え合えるよう職員が支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても、移設先を訪問したり、ご家族と電話連絡を取り合ったりして、関係を大切にしています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人一人の伝えたい事をしっかり受け止め、正面から向き合い対話をしながら、暮らしやすい支援をしています		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時の調票(情報)で生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過はおよそ把握しますが、不足がある場合は利用者及びご家族に聞き取りしています		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各自の現状は介護計画を立てる際に密にするように努めていますが、変化がある場合はスタッフノート等で各職員が把握出来るようにしています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族の意見を取り入れながら介護計画を作成し、ご家族に十分な説明と話し合いを持ち、ご意見等を取り入れた介護計画の作成に努めています		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画には、期間を明示し3ヶ月に一度の見直しを行うとともに、状態に応じて随時会議を行い計画の見直しを行っています。軽微なものについては、先に述べたようにスタッフノート等で各職員が把握できるようにしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録は、1ヶ月の記録シートと別途日々の記録をしているノートやファイルがあり、時間置きに入居者の様子や言動、食事や排泄、身体状況を具体的に記録し介護計画の見直しに活かしています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の面会時には、入居者の心身の状況や日頃の暮らし方を伝えご家族の意見や希望を引き出すような支援をしています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地区民生委員の訪問や小学生徒教師との交流、ボランティアの協力を得ながら支援しています		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の意向を、必要に応じて他のケアマネジャー及び事業者と協議をし他のサービス利用についての支援をしています		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働はまれですが、事案があった場合は協働しています		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望を大切に、かかりつけ医療機関での受診またかかりつけ医がいない方は当ホームの提携医師とも相談しながら、適切な医療が受けられるように支援しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主に介護支援専門員(准看護師)が精神科医や各医療機関の医師より助言を受けたり、相談しながら支援しています		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	介護支援専門員(准看護師)が、常に日常の健康管理や医療機関の活用についての支援をしています		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	介護支援専門員(准看護師)や職員が常に医師やご家族と相談しながら、情報交換や相談に努めたりと医療機関との連携を図っています		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では、重度化や終末期に向けた方針の会議の中で、体調の急変時は救急病院に搬送するということを確認しています。		命の倫理の問題や医療を受ける権利等を奪うことになりかねない面があるのじゃないかとも考えています、今後はご家族の希望に沿った重度化終末ケアの方針を検討しなければと考えています
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族及び本人に関する介護支援専門員との情報交換を十分行い、さらに介護支援専門員作成による介護情報提供書を提供し、住み替えによるダメージがないよう努めています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人の性格等を考慮し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応を心掛けるよう又記録等にも十分心がけながら対応しています。全体会議においてよく議題に取り上げて検討しています</p>	<p>今後も言葉掛けや対応については、しっかりした対応をするよう、職員全体で話し合っていきたいと思っています</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人が何か訴えある時はよく聞いてあげて、出来る限り希望に沿ってあげて、希望に沿えない時は十分説明して、納得してもらいながら生活の支援をしています</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>野菜作りの好きな人、手芸の好きな人、ゆっくりしたい人、その人らしい希望に沿った生活が出来るよう支援しています</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>利用者の個性を尊重し個々の希望にあわせた支援を行い、利用者の居室のカレンダーには家族と行きつけの美容室に行く予定を書き入れたり、食堂のカレンダーには理容師の訪問サービス日を書き込んだりと、その日を楽しみにしてもらえよう声掛けを行っています</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事のメニュー、味付け等は全体的には塩分糖分控えめですが、利用者の意見を聞きながら味付けしたり、食べる時は利用者がそれぞれのペースで食事をしている様子をゆっくりと支援しながら対応しています。料理の下ごしらえや、おぼん拭きの手伝いはして頂いています</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>持ち込みの飲み物やおやつ等について、特別な病気がない方は自由にして頂いていますが、病気がある方はその一人ひとりの状況に合わせて調整対応し、好みのものを楽しめる支援を実施しています</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	利用者一人ひとりの排泄の状況を時間おきに記録しており、自立に向けた個別の排泄支援を行い、入居者の様子を伺いながらさり気なく排泄の誘導を行っています		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	入浴休みが週二回で実施していますが、入浴の希望を聞いていたら、何日も入ってくれない方が多数を占めていますので、現在半強制的に入浴して頂いています。ただし入りたい方は入れるように支援しています		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	利用者一人一人の睡眠パターンを把握し、生活リズム作りに取り組んでいる		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	利用者一人一人が自然なかたちで、以前の暮らしと変わらない生活リズムで過ごせるよう、楽しみや気晴らしの支援をしています		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	入居者別に金銭管理出納帳を作成し、一人ひとりの希望に応じてお金を所持したり使えるように支援し、毎月金銭管理の状況を家族へ報告しています		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	いい天気の際は散歩に出かけたり、参加者を募って花畑の見物や買物に出かけたり、寒い時期ほかほか陽気の日などの時は外で日光浴をしたりとできるだけ支援しています		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	墓参りや家に帰る等個別の場合や他の利用者と一緒に地域の催しに参加、またご家族と一緒に外食会等皆さんと共に出かける支援をしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を出したい方は事務所のほうで出してあげて、来た手紙は本人へ手渡し、電話をかけたい方は自分でかけて頂き、番号が定かでない方は、こちらでかけてあげる等の支援をしています		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室は畳間を設け、テーブルを備え家族や友人知人の方が来られてゆっくり出来るよう工夫しています		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議でできるだけ、身体拘束しないような介護をめざすように話し合っていますが、特に手薄な夜間帯にベッド上で体動が激しく転落の恐れがある方の場合ベッド手摺を足元にも設置している事例がある。また転倒の恐れがある方のベッド脇にセンサーマットの設置（ご家族の承諾書受領済）しています		手薄な時はどうしても安全を優先しがちですが、本当に代替する方法はないのかを真剣に検討し、身体拘束を必要としない状態をつくる方向づけをしていかなければならないと考えています
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	目が届かない間に怪我をされてはいけないと、一時的に鍵をかけていた時期がありました。		利用者の心理的抑圧感や不安、憤りは大きく、加えてあきらめや気力の消失ももたらされていくことがありますので、安全を確保しながら自由な暮らしの支援に努めていきたいと考えています
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーに触れないように、所在、様子をそれとなく把握するように配慮しています		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物品は事務所に保管していますが、利用者の状態に応じて、ハサミ等使っても大丈夫な方、見守りが必要な方、と注意しながら使用して頂いています		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書、事故報告書を整備して、報告書が出た場合は職員全員が回覧するようにしたり、また全体会議においても、特に注意が必要な方の介護方法等を話し合ったり、状態に応じた事故防止に努めています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生に備えて、消防救急隊の講師にホームでの講和また実地指導を受けたり、ホーム内においては入浴休みの日に準看護師職員の指導で応急手当等の訓練実施を計画していますが、休日と重なる場合が多いので、現在は定期的に行っているとは思えない		休日の取り方を検討して、できる限り全職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っていかなければならないと考えています
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防団の協力のもと、夜間帯及び昼間の防災訓練を実施しています。地域の人々の慰問やこちらから地域の催しに参加することにより、ホームの存在意義を知って頂き、何かある時は協力を得られるよう努めています		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族とは面会時等において、日頃の生活ぶりまた起こりうるリスクについて説明し、一人ひとりが抑圧感のないその人らしい暮らしができるように、話し合いをしています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体温血圧測定は毎日記録して、排便等の記録も行い全職員が情報の共有を図り、体調の変化に注意しています。変化がある時は介護支援専門員(準看護師)を中心に対応しています		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護職員は介護支援専門員(準看護師)を主体に目的等用法、用量を理解しながら、服薬の支援、症状の変化の確認に努めています		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	介護職員は便秘の原因や及ぼす影響を理解し、食べ物の工夫や飲水量の把握等、また運動として、廊下を歩行するなどできるだけ体を動かすように働きかけています		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で出来る方は自分でして頂き、出来ない方は職員が支援して毎食後励行しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した献立作りに努力し、糖尿病の利用者には医師栄養士の指導のもと、主食やおやつを減らしたり塩分糖분을控えめにした食事にしたたり、一人ひとりの状態により食事量を考慮したり、また水分量についても各利用者の把握をし、適量の摂取に努めています		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	介護支援専門員(准看護師)を主体に経営陣を含む感染症委員会を設置し感染症に対する予防対応の取り組みを実施して、保健所他の研修会にも積極的に参加しています		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理器具等の衛生管理には十分気配りし、食材についても毎日の購入で新鮮な材料の使用し、その日のうちに使い切るように努めています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門は常に開放しており、玄関周りや周囲には植木や季節の草花を植えて、野菜畑もありあたたかみのある親しみやすい雰囲気、利用者のご家族や地域の方々が気楽に気持ちよく訪問しやすいようにしています		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホールの共用空間にソファを、渡り廊下他の外部にもベンチをおいて、気の合った利用者同士話をしたり、周りの四季折々の景色を眺められる様にしたり、トイレは居室2室に1か所設置し、利用し易い工夫をしています		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	前記した様に、ソファやベンチの設置や畳敷きの居間の配置により気の合った利用者同士や独りでも過ごせる居場所の設置をしています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が自宅から三面鏡や小物入れを置いてあったり、自身の若い頃の写真、子供さんお孫さんの写真を飾ったり、趣味の物を飾ったり、亡くなられた伴侶の写真を飾り毎日お茶をあげている利用者とかご自身が生活しやすいように、気持ちよく過ごせるように支援しています		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気温度調節はご自身で出来る方はご自身でして頂き、出来ない方は職員がこまめに管理して過ごしやすい様に配慮しています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は廊下、トイレ等全て手すりをしてあり、できるだけ自立した生活が送れるようにしています。歩くのに不安がある方でも自力で歩行運動できるようにしてあります。蛇口をセンサー式にし、手洗いも自分で洗えるようにしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の言葉、表情、行動をよく観察してわかる力を見出し、出来ないことを無理にさせようとしたりしないこと等、一人ひとりの力を職員が共有して、出来ることを少しずつでもして頂くように全体会議等で話し合い実施している		
87	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	当ホームの渡り廊下にベンチを置いて、天気がいい日には日向ぼっこをよくされています。敷地が広いので、散歩や菜園が好きな方は畑を耕し豆やトマトや芋など色んなものを、楽しみながら作られています		

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在取り組んでいる点として、その方の気持を尊重し、有する力や希望を踏まえ健康体操、ゲーム等の趣味の活動を支援したり、家事や調理を手伝って頂いたり利用者一人ひとりが自立して、持っている力をだせるように生き生きとした生活ができるよう支援に力を入れています。ご家族に対しては利用者のご家族の意見を取り入れた介護計画を作成し、日々のケアとその記録を行い、一日の様子や健康状態を1ヶ月毎にご家族へ報告しています。アピールしたい点として、周囲が閑静な小高い丘の住宅地で景色がよくお年寄りの生活空間として最適な環境であること、施設外は敷地が広く、したい方は畑作業を楽しんでいます。施設内は明るく、居室2室に1室のトイレや重度の方や職員の負担軽減を考えて機械浴も設置しており、機能的な施設であると思います。